

彼の生活

今井白鶴

幾日か降りつづいた天候も、あつたが、この頃、あつた太陽が強烈な光線を放射して、

開け放たれた窓から展望される限りの遠く、珈琲園も、どす黒いまでに濃緑の色彩を漂はして、

たつた、白い雲が西洋畫を聯想させて、

校庭につづく地面を、白と黒との斑の混在した、白と黒との斑の混在した、

影の男

「彼は天才である。が天才は狂人に近い。狂人ではないが、彼

彼の新しいロマンスに就いて、様々な噂を撒き散らして、

ほど近い田舎町の製材所の汽笛が鳴り出す。大地を這つて流れた山峡の小川をへだてた向

に、秋の哀愁はそこから生れて、自然をつんでゆく様に思はれた。

彼がこれほどの熱心と意欲とを以てしても、放浪に於いて野

に、遊んでゐる子供達を見る。彼らに、野邊の名も無い草花

のうちに、彼は今日の日を感謝した。

第一の悲劇へ

話の運びが、果して何處迄も、その後の影射に、小學校

と寂寥とを感ぜられた。然し、更に入り、凡ては幸福の薄絹に包

に、遊んでゐる子供達を見る。彼らに、野邊の名も無い草花

のうちに、彼は今日の日を感謝した。

第二の悲劇へ

話の運びが、果して何處迄も、その後の影射に、小學校

のうちに、彼は今日の日を感謝した。

のうちに、彼は今日の日を感謝した。

CASA DAS SEMENTES Carlos Corradini Rua S. Caetano 42 - São Paulo 新種子

BING, ROCE & CIA. LTD. Rua Xavier de Toledo, 62 Caixa Postal, 2838 S. PAULO

ZERRENNER, BÜLOW & CIA. LTDA SECCAO TECHNICA 製氷機、印刷機、製材機、ポンプ、マンテイ

Cia. Brunswick do Brazil. Rua Ypiranga, 14-C, Tel. 4.6257 End. Teleg. "BRUNSWICK" - S. PAULO

Armour of Brasil Corporation FRIGORIFICO - S. PAULO Alameda Clevelando, 34-A Villa Anastacio (Lapa) CAIXA POSTAL, "t" - S. PAULO 再度の値下断行

新時代の宣言

大空に伸びゆく
新ス・ポーツ時代

母 國 近 信
駒場原頭に出現する
航空科學の王國

ドイツのいたづらな飛行機が、
ヒトが世界最速と銘うった豆飛
行機を飛ばした。ついで巨人エ
ンペラー博士の「銀色のシガー」
ツケン博士の「銀色のシガー」
日本の航空を流れて行った。空
の黄金時代を謳歌するのには、
古いにも、血の若い學生の
目玉は驚異のプロペラの様に
廻轉した。大空の感覺を追求
生のあるが、これに火がつい
た。その火が、航空熱時代を現出
した。それも単に「話の種」に
一度向來して大空から地球の立体
風景を眺めて征空を味つてみ
たいといふやうな興味だけで
ない。自分で飛行機を操縦し、
は自分達独自の設計で飛行機を
作りたいといふ。

計書資本激減す

財界不況のため

昭和四年の財界は一年間を通じて九千圓にして六十三社、二億三
金解禁の聲に脅かされ、一千二百三十四万六千圓の減
般或は人気が減退して不況は益々深刻化し、企業界悲觀のため
終始金利安の状況にかゝらず、
新資金の需要に起らず、諸般
の事業は何れも見送り勝ちに推
移したので、四年中の株式會社
計資本調べ(興業調査)によ
ると、新設に於ては九千八百
五十二社、金額九億九千六百
六十九千圓にして前年比で
八十六社、八千三百七十四萬
千圓の各減少を示し、増資は五
百四十四社、四億三千八百五十八萬

潜水艦の發達

南洋巡航の準備を急ぐ

目下開催中の軍備會議を中心に、
列強海軍の潜水艦研究は遂に最
高潮に達した。さきにイギリス
海軍は排水量二千五百二十五噸
もある遠征型より大きな潜水艦
を建造して我が國に對しては千
四噸の潜水艦を建造し、全部潜
中海、大西洋をまはつたが、
その際この大きな潜水艦の潜水
艦が非常に重油を消費するに
違ひない事を知つて、日本海
軍は排水量二千五百二十五噸の
潜水艦(排水量二千五百二十五噸)を

都市病を追つ拂ふ
新太陽燈浴室

豊崎勤勞學校に設ける

大阪衛生試驗所が研究に着手
一分間に約十貫目も降つてくる
大阪市内の煤煙は、人体に肝心
な太陽の紫外線を三割も減殺
してしまふ。煤煙と霧の深いロ
ンドンにせよ、煤煙の多いこれ
がためだといはれる。この
中で大阪市立衛生試驗所が今度
市立豊崎勤勞學校内にガスタン
クのやうな銀色の太陽燈を
浴室を備へつけ、市長原廣
山口博士が「都市病」におか
されたる煤煙を紫外線で
丈夫にする新らしい研究をほ
めた。

日本一の豆軍艦

たつた五十五トンの

河川砲艦「小鷹」
特務艦に積んで揚子江へ
海軍では従來揚子江沿岸居留民
を保護するため第一遣外艦隊を
編成して派遣してあるが、揚子
江は冬期になると氷がたつて減水
して普通の砲艦や砲艦では航
行する事が不可能なので、五十
噸の小型河川砲艦を建造する
事となり、現在建造中であつた
が此の程漸く竣工し、名も「小
鷹」と命名した。正に日本一の
豆軍艦で、吃水が浅いから冬期
でも沙市、長市などまで自由に
航行する事が出来る。小型だけ
に世界最速を渡つて任務につけ
向上海に向つた。

北陸線途に不通

各列車立往生

北陸線直江津を中心として吹雪
は激甚を極め、各列車は何れも
立往生で發車不能となつた。一
千名の除雪夫を操出し、ラッセ
ル車を動かして除雪に努めて
ゐるが各地の積雪量は
直江津、積雪量三尺三寸
△觀不知二尺五寸 △糸魚
川二尺 △城端一尺二寸
△大栗寺一尺 △金澤六寸
である。積雪線高田市地方も

断食療法の実験に
自身を試験臺に

嵯峨大覺寺の道場に籠る

モルトを断食させて動物血となつてゐる。
液の實驗に成功した大阪醫大へ
ル外科醫學博士大橋兵次郎
氏は、さらさらの研究を延長し
て人體によつて實驗を行ふ事
になり、助手四名を伴ひ約一週間
山崎山崎大覺寺境内院院斷食
道場にこもり博士自ら
断食することになった。

東京大阪に
社會施設

東京大阪に
社會施設
東京支那代表來る
繁榮の國アメリカでフォード
つぐ大富豪、石油王のジョン・
D. ロックフェラーの遺財で
出來てゐる有名なロックフェラ
ー財團では今年東京と大阪とに
社會施設をやるといふ話が大
阪市先年大阪府乳幼児保護協
会、同會々長大阪府知事及び副
會長大阪市長の名で東京聖路加
醫院長トイスター博士の歸來に
際して同財團を通じて東京の乳
幼児保護の社會施設をやつて
「フェラ財團」は是非大阪市に乳
幼児保護の社會施設をやつて
らひたいと希望してゐた所、
最近同財團本部から東京支那代
表の北平駐在グラント博士に
命あり、同氏は直ちに大阪施設
を兼ねて視察した上東京へ向つ
て、保健に關する何らかの社
會事業がロックフェラー財團の
手によつて施設されるやうである

白血球

白血球の食菌作用が
たが、保健に關する何らかの社
會事業がロックフェラー財團の
手によつて施設されるやうである

DUARTE & SALERNO
RUA S. BENTO, 19
SÃO PAULO
Caixa Postal, 2182
Telephone 2-6318
寫眞機
並に附屬品、材料一切は
最も信用ある當店の
直輸入品に限りませ
「アグファ」
「インペリアル」印乾板
「ブラジル」
コダック會社代理店
ドアルテ・サレルノ商會
現像修正並引延し
型録申込次第進呈

COFRES, ARCHIVOS E PRENSAS "BERNARDINI"
Ugo Bernardini
類デプ文金
一スプレッス
切クス庫庫
に間社會大行銀るな要主國當
すまり居てし博を評好
達用御社會業興外海
Fabrica Rua Oriente, 187 e 189
Deposito Rua da Quitanda, 16
Telephone 2-1414
São Paulo

印刷を注文するなら
日伯社

呼聲負のカルナバル

先づブラッスで皮切り
 深い不景氣に
 深く不景氣の吹き荒ぶる
 ラジに取つては珍らしい真鍮
 味を帯びた政争にぶつつかつた
 今年のカルナバルは、怪々たる
 げられるかた、當日迄と
 旬日と云ふ先頃迄は何等それ
 らしい氣配を見せず、中には今
 年のカルナバルは香水やセルベ
 ンチの代りに煙や銃砲の玉が
 飛ぶだらうなどの風説を傳へる
 者もあり、頗る熱の好らぬもの
 であつたが、當日當て込みの商
 人を始め各クラブの關係者、一
 流ホテルの經營者など、これら
 はならぬと極力宣傳に勉めた甲
 斐あつて、去る廿三日の晩アラ
 ス方面では始めて賑やかにカル
 ナバルらしい氣分を見せて、今
 年カルナバルの幕を明けた。

自動預金箱設置

自働預金箱設置
 聖市では最初の試み
 從來アルバレス・ベネチア
 ド街で營業してゐたニューヨ
 ク・シティバンク聖市支店は先
 年アン・ト・オ・ブラッド・廣
 のライト會社の建物を買取り、
 修築中の所此程完成して去る廿
 四日開業した。

有吉人使歸朝

有吉人使歸朝
 四月十六日の米國船で
 代理大使は維田書記官
 かねて賜暇歸朝願中であつた
 有吉大使は先頃本省より許可
 あり来る四月十六日の米船ノー
 ザンプリンス號にて出發歸朝の
 途につく由である後現在一等
 書記官維田四郎氏が代理大使
 として事務を見て行く有吉大
 使歸朝後任に任じられる有吉大
 使歸朝後任に任じられる有吉大
 使歸朝後任に任じられる有吉大

商業銀行一杯喰はさる

巧妙な偽造手形
 犯人は元銀行員
 聖州商業銀行サンタ・アデリ
 ア支店では去る一月三十日同銀
 行パウリー支店發行のフランシ
 スの支拂命令書を受け、速刻受

ヤリラマ
 熱病 一切 よくさく
 十五日に全治する
 (服用一錠二日に防除)
 薬水いよみ飲はに供小
ESANOFELINA
 りあに店薬國萬
 元賣 販
EMILIO AJROLDI & CIA.
 S. PAULO: CAIXA, 907
 RIO DE JANEIRO: CAIXA, 2171

取人右フランシスコ(同金額を
 支拂つた。支拂命令書は無効パ
 ウル支店長及び會計の署名し
 たものであり、同時に同銀行本
 支店の責任者のみに使用される
 暗號が立派について居り、その
 上にパウリー支店長署名の介
 して添付されてゐたのでサント
 アデリ支店では何等の疑ひも
 なく支拂つたものである。所が
 その後右支店にて商用通信の
 往來されるに事明南支店令書
 の偽造なりし事判明南支店令書
 見當るがその推察に於ける
 交へた一人の女を起る戀愛小説
 する者の胸に抱かれてゆく強い
 女の心は如何に動く
 東洋シネマ
 去る二十日午後七時から催さ
 れた労働會館に於ける東洋シネ
 マの初興行は、久し振りの日本
 映画として一般の興味を呼び中々
 の盛會であつた。日活の「路上
 の樂園」は浦邊素子と性根女優
 としての妙味を示し、松竹の「
 見當るがその推察に於ける
 交へた一人の女を起る戀愛小説
 する者の胸に抱かれてゆく強い
 女の心は如何に動く
 東洋シネマ
 去る二十日午後七時から催さ
 れた労働會館に於ける東洋シネ
 マの初興行は、久し振りの日本
 映画として一般の興味を呼び中々
 の盛會であつた。日活の「路上
 の樂園」は浦邊素子と性根女優
 としての妙味を示し、松竹の「

尋人
 山口縣人 河田 潔
 右の者の現住所知り度きに付
 本人又は御存知の方には至急
 當館宛御一報相煩度候
 昭和九年二月
 在サンパウロ
帝國總領事館

米
 出米高
 本月一日以降 二九千袋
 前月同日 二九千袋
 前月同日 二九千袋

替爲
 倫敦 九片二分一
 ニューヨーク 八片二分一
 シンガポール 八片二分一
 香港 八片二分一

相場と市況
 二月廿七日現在
 一般人氣は
 替爲 警戒嚴重
 ロンドン 九片二分一
 ニューヨーク 八片二分一
 シンガポール 八片二分一
 香港 八片二分一

尋人
 廣島縣品部新市町 赤崎 次平
 愛知縣知多郡野間村 前田友右衛門
 長崎縣北高来郡小野村 山崎 喜
 千葉縣長生郡二本郷村 白鳥 權次郎
 鳥取縣西伯郡高岡村 岡崎 實一
 沖繩縣島尻郡豊見城村 赤崎 三郎
 全 大里村 宇 川 三郎
 右ノ者等ニ對シ要用有之候間本
 人若シクハ現住所御承知ノ向ハ
 御一報相煩度候也
 在サンパウロ
帝國總領事館分館

Ao Regulador Fox
 Rua Quinfino Bocayuba, 11
 千八三二年の開業以
 來本店は絶對保護と
 絶對責任をもつて各
 種時計の修繕を致し
 て居ります
 日本人諸君に特に安
 價に致します、日本
 人教育會館も數個御
 買上げ下さいました

Luiz, Santos & Cia.
 Rua José Bonifacio, 35
 TEL. 2-2076 - S. PAULO
 衛生用具
 湯殿洗面所
 便所用具
 コンネット
 各種其他
 衛生設備
 用具一切
 飛切格安値

英語教授
 マックンチ大前教授が英語
 を懇切丁寧に教へます、自宅、
 出張、應召。
 Rua Maranhão Prado, 42
 (Antiga Rua Viales)

紙製レース飾り
 純白・彩色物各種(一枚十メートル)
 御用命は直接工場へ
 Rua do Paraizo, N. 72
JOÃO GOMES & CIA.
 Caixa, 1129 S. Paulo

近世新人必携の書
 速成 自動車操縦法
 獨習 自動車操縦法は愈々出来上りました
 御待ち兼ねの自動車操縦法は愈々出来上りました
 自動車操縦法が習ひ度い!!!
 自動車の修繕法が知り度い!!!
 故障見出し法が覚えて置き度い!!!
 自動車が動かなくなつた時の處置!!!
 是等の要求を充す可く生れた本書は自動車操縦法は勿論、
 故障早見法、修繕法及び普通自動車學校等サンパウロ市に
 於て教へつゝある速成試験應用問題等の葡和譯を挿入して
 運轉手受驗家の便に勉めて簡單明細に著してありますか
 ら一時も早く御注文下さい。

Cia. Santense de Navegação
 サントスーイグア
 ペ間を最も速に往
 復する客貨物船
 イタイツーバ
 サンセバスチオン、ピ
 ラペーラス、ウバタガッ
 各火曜日午後十時
 カナヤ、イグアペ行
 各土曜日午後四時

Dr. Arthur de Santis
 RUA XAVIER DE TOLEDO, 44
 Telef. 4-5135 S. Paulo
 醫學博士アルノ
 ゴ教授の助手
 産科婦人科
 紫外光線
 デアテル
 並に
 診療料十五ミル
 診察時間 毎日午
 後二時ヨリ五時迄

古新サツコ卸小
 J. Curado
 Rua Marquês de Heráclio, 75
 Santos Tel. 1568

時計販売並に
 時計修理
 佐古田電藏
 聖市サンレイトフルタード六
 電話 二一九二番

ファゼンダ
 聖市より汽車又は自動車にて約三時間半、ソコパナ地方
 に五年樹カフニ二千五百本、其他ラ、シヤ、梨、蜀黍を
 栽培中の肥沃な土地其他牧場、森林、耕種済の土地合せ
 て七アルケレスを賣ります。此の地には尚三軒のコン
 住宅と倉庫、厩、自動車倉庫、瓦床テレイロが付いて居
 上に耕主住宅として電燈あり、又冷温水自在な湯殿、庭園
 (こよはは鐵管で水が引いてあります)付の十室の家があり
 ますし之に附屬して厩、小屋が有ります。其他アラド
 等一般農業用具、二臺のカローサ、自動車、乗用馬、九頭
 の家畜、豚、鶏等々が有ります。が之を金百コントス也又
 は聖市々中の建築物と交換致します。(但支拂法は容易)
 其他詳細は
 Sr. Gustavo
 Praça Ramos de Azevedo N.º 5, 1º andar
 Parque Anhangabáhu, 18 中野氏迄
 九時一十時 二時と五時 又は

遠藤商店
 ルアC・フルタード八
 郵 函 二八七八

近代新人必携の書
 速成 自動車操縦法
 獨習 自動車操縦法は愈々出来上りました
 御待ち兼ねの自動車操縦法は愈々出来上りました
 自動車操縦法が習ひ度い!!!
 自動車の修繕法が知り度い!!!
 故障見出し法が覚えて置き度い!!!
 自動車が動かなくなつた時の處置!!!
 是等の要求を充す可く生れた本書は自動車操縦法は勿論、
 故障早見法、修繕法及び普通自動車學校等サンパウロ市に
 於て教へつゝある速成試験應用問題等の葡和譯を挿入して
 運轉手受驗家の便に勉めて簡單明細に著してありますか
 ら一時も早く御注文下さい。

Fazenda Santa Lina
 Estação Santa Lina
 E. F. Sorocabana
 四年契約者募集
 好條件にて咖啡植付四年契約請負者數家族募
 集します、御希望者は上記又は左記住所所御
 問合せ下さい
 José Giorgi
 Rua Assembleia No. 2
 Caixa Postal, 80 - S. Paulo

化学肥料販賣
 硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、
 硫酸加里、石灰燐素、骨粉、硫酸、
 殺菌、劑調合肥料、(ベタ、野菜其他)
 地質試験、フォルムシード、ペンソク
 レオル類、フォルムシード肥料製造
 委託販賣業
 倉庫 ビネイロ、メルカド隣
 自宅 ビネイロ、ペドロソ、デ
 月 操
 モラエス 六五

ホテルカールトン
 HOTEL CARLTON
 Rua Libero Badaró 26-1.
 何故山崎の日本人方から御
 愚直に預つて居るのでせうか
 市中自給の場所、日本領事館は左隣り四軒
 目、使用人達の親切丁寧、かゆい所に手届
 く様な客扱ひ、聖市と思はれぬ程の
 しかも清潔、美味い食事、そして大
 量の金儲け
 ◎御出聖の際は是非
 ホテルカールトンへ

遠藤商店
 ルアC・フルタード八
 郵 函 二八七八

遠藤商店
 ルアC・フルタード八
 郵 函 二八七八

遠藤商店
 ルアC・フルタード八
 郵 函 二八七八

Aubos Fortuna
 RUA LIBERO BADARÓ NO. 455
 S. Paulo
 化学肥料販賣
 硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、
 硫酸加里、石灰燐素、骨粉、硫酸、
 殺菌、劑調合肥料、(ベタ、野菜其他)
 地質試験、フォルムシード、ペンソク
 レオル類、フォルムシード肥料製造
 委託販賣業
 倉庫 ビネイロ、メルカド隣
 自宅 ビネイロ、ペドロソ、デ
 月 操
 モラエス 六五

F. Ambrosio & Cia.
 Rua José Bonifacio, 39
 Phone 2-1298 - Caixa, 752
 SÃO PAULO
 各種旅行用具各種
 タンその他旅行用具各種

遠藤商店
 ルアC・フルタード八
 郵 函 二八七八

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XVI

São Paulo — Quinta-feira, 27 de Fevereiro de 1930

Num. 665

Moedas ouro nas caixas do Banco do Japão tiveram notavel augmento

A crise, em 1929, determinou sensivel decrescimo em emprehimentos e no emprego de capitaes

Foi bastante diminuto o movimento de letras commerciaes em 1929

Desenvolvendo activamente a navegação entre o Japão e a America do Sul

I. SHIOKAWA
UNICO IMPORTADOR
DA PORCELLANA
MARCA
Horikabe
SÃO PAULO
R. Higashiohama, 88 e 90-1
TELEPHONE 14-0827
CAIXA POSTAL 1794
Dist. Tel. "NIPPON"

Moedas ouro nas caixas do Banco do Japão

TOKIO, Janeiro de 1930 — De accordo com a escripturação que se transportou do anno passado, do Banco do Japão, é de . . . 1.072.273.000 yens a existencia actual das moedas ouro nas suas caixas, pelo qual verificamos um augmento de 7.200.000 yens nestes ultimos dias. Esse consideravel augmento de moedas ouro nas caixas do nosso principal estabelecimento de credito é motivado principalmente pela transferencia dos 20.000.000 yens em ouro existentes entre os 43.345.000 yens pertencentes ao governo imperial, cuja transferencia está definitivamente resolvida pelo governo. Outros factores preponderantes que determinaram esse augmento são as compras de ouro feitas ultimamente pelo banco aos commerciantes de ouro nacionaes e a incineração de papel que o banco vem effectuando.

A diminuição no numero de emprehimentos e capitaes empregados em 1929

TOKIO, Janeiro de 1930 — Apesar de ter sido bastante reduzida a taxa de juros vigorada entre nós, o anno de 1929 não foi farto em emprehimentos, tendo os capitaes empregados soffrido sensíveis reduções, devido á crise provocada pelo pavor em torno da revogação do embargo que pesava sobre o exchodo do nosso ouro. Assim, muitos dos novos emprehimentos não entraram no terreno das realizações, facto que determinou a exiguidade das procuras de capitaes. Segundo um inquerito do Banco dos Emprehimentos, foram registrados durante o anno passado 1.851 empresas novas, com os ca-

N. Y. K. e O. S. K. augmentam o numero dos vapores para servirem nessa importante linha

TOKIO, Janeiro, de 1930 — Osaka Shosen Kaisha, uma das duas importantes empresas de navegação nacional, vem introduzindo, em suas linhas de vapores á America do Sul, notaveis melhoramentos. A empresa construiu recentemente o luxuoso paquete "Buenos Aires Maru" que é a ultima palavra em navegação moderna. Em junho proximo, a mesma empresa vai inaugurar o "Rio de Janeiro Maru".

A outra empresa não menos importante, Nippon Yusen Kaisha, não ficou tambem atraz da

sua concorrente e procura melhorar as condições de transporte dos imigrantes para o Brasil. Para isto, basta citar que os vapores, relativamente antigos, actualmente empregados nesse serviço, serão substituídos pelos de escala maior e mais confortaveis. Assim, os vapores "Iyo Maru", "Shizuoka Maru", "Yokohama Maru", "Aki Maru", "Tango Maru", e "Kaga Maru" que vinham servindo na linha de Seattle e Australia vão ser transferidos para a linha Japão-America do Sul. Todos esses vapores são superiores a 6.000 toneladas.

DR. S. TAKAOKA
MEDICO-OPERADOR
Rua Fagundes, 8
Tel. 7-4683 S. PAULO

DR. Y. KIKUCHI
MEDICO
REGISTRO — IGUAPE

pitais que montam a 596.169.000 yens, portanto, 86 com 83.745.000 yens para menos em relação ao ao anno de 1928. Augmentaram seus capitaes, no igual periodo, 504 empresas, na importancia total de 438.589.000 yens, accusando, assim, um decrescimo de 63 empresas, na importancia total de 232.346.000 yens. Quanto á emissão de debentures, notamos um grande decrescimo, pois apenas 292 empresas os emitiram, no montante de 933.967.000 yens, o que accusa uma diferença para menos de 67 empresas, na importancia total de 651.444.000 yens. É preciso ainda notar que a maior parte dessas emissões correspondem apenas aos resgates realizados. Eis quadro especifico dos capitaes realizados durante o anno passado:

Emissões	Augmentos	Novos
101.700.000	37.955.000	58.722.000
55.450.000	50.700.000	88.171.000
139.385.000	96.924.000	72.751.000
24.090.000	92.819.000	28.855.000
8.600.000	5.000.000	6.540.000
6.250.000	8.751.000	66.656.000
	647.000	1.712.000
	1.085.000	13.145.000
	77.672.000	29.510.000
	68.025.000	235.195.000
	29.490.000	596.196.000
	933.967.000	

Quando ás reduções de capitaes e dissolução das sociedades, temos a informar que não se verificou movimento que costuma notar em outros annos, sendo de 133.581.000 yens, entre 238 empresas, para menos, portanto, 60 empresas com 71.399.000 yens, em relação ao anno de 1928. O numero das sociedades dissolvidas foi de 687, com capitaes na importancia somma de 333.198.000 yens. No numero destas verificamos uma diferença para menos de 221, em comparação ao igual periodo anterior, com 287.662.000 yens de capitaes.

AS ELEIÇÕES GERAES NO JAPÃO

A victoria do partido "Minseitō"

TOKIO, 22 de Fevereiro — É o seguinte o resultado conhecido sobre as eleições geraes effectuadas ante-hontem: Minseitō 239 logares
Seiyukai 138
Financeiro 6
Sociaes-democratas 2
Camponcezes 1
Proletarios 2
Diversos 6

effectuado em Tokio. Isto deve principalmente ao facto que naquella praça a taxa de juros diarios é 1/10% mais baixa que nesta. Essa baixa se verificou com maior intensidade nos ultimos dias do anno ultimo, conforme se pode constatar pelo quadro do movimento diario que segue:

Dia	1927	1928	1929
20	99.398.000	101.006.000	78.637.000
21	87.929.000	94.501.000	57.404.000
22	87.543.000	95.624.000	Feriado
23	92.368.000	Feriado	72.122.000
24	99.873.000	95.343.000	98.025.000
25	Feriado	Feriado	Feriado
26	146.958.000	179.414.000	112.520.000
27	167.039.000	157.072.000	126.240.000

Edição de 8 paginas

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes
K. NISHITANI
IMPORTADOR E EXPORTADOR
Rua Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

O recenseamento agricola do Estado

(Continuação)

Productos	Unidade	Produção	Preços medios	V. da produção
Leite	Litro	2.698.790	\$450	1.214.455\$500
Manteiga	Kilo	1.208	9\$000	10.872\$000
Queijo	Kilo	2.750	2\$750	7.562\$500
Mel	Litro	300	2\$200	660\$000
Cera	Kilo	100	4\$000	400\$000
Valor total da produção				1.233.950\$000

A fruticultura em Pirassununga vaé tambem com as demais actividades productivas em franca prosperidade. O censo apurou o valor da produção que se eleva a 270.659\$950. Sobresam pela

importancia a laranja, a banana e o abacaxi. No quadro seguinte estão mencionadas todas as especies cultivadas e os respectivos valores:

JAPONEZES NO JAPÃO NO BRASIL

Prof. BRUNO LOBO

29

VIDA E ACTUAÇÃO DOS JAPONEZES NO MEIO BRASILEIRO

(Continuação)

Povo nobre delicado, comparavel, pelas suas qualidades e virtudes, aos mais adiantados do Occidente Europeu.

O problema immigratorio japonês, nas suas relações com o Brasil, prende-se á acção do ambiente sobre os novos habitantes, á sua acção no meio em que passem a viver e ao natural cruzamento entre os japonezes e os elementos ethnicos existentes no paiz, principalmente, com o typo ou typos raciaes brasileiros, já francamente esboçados ao Norte, Nordeste, Centro e Sul de nossa patria:

Veremos, a seguir, as condições do meio brasileiro, o proceder dos japonezes em nosso paiz e as possibilidades e consequencias do cruzamento, procurando, da exposição que fazemos, fundamentar os nossos conceitos favoraveis á localização dos nippons no territorio brasileiro.

O factor mesologico brasileiro apresenta características interessantes e que devem ser levadas em muita conta ao estudarmos a fixação do japonês, pois o "habitat" brasileiro é profundamente variavel, dada a nossa extensão territorial, ainda accrescida das diferenças oriundas da orographia, potamographia, constituição geologica, diversas altitudes, regimes dos ventos, elementos estes capazes de determinar em suas combinações climas diferentes.

Situado entre 5°-10' de altitude N e 33°-45' de altitude S, temos, no Brasil, clima vario, mas sem oscillações extremas. Não se verifica aqui nem o frio intenso nem o calor secco abrasador, pois a acção dos mares sobre o ambiente o torna mais frio, graças ás correntes polares e ao menor calor especifico das aguas, inferior de dois ou tres graus ao verificado nas terras da mesma latitude e mais humido pela constante evaporação das extensas superficies marinhas, que constituem o nosso riquissimo systema hydrographico.

Necessario torna-se em observações e ensaios successivos verificar qual é a zona do Brasil que mais convém á prompta acclimação dos japonezes. É bem de ver que diferenças muito grandes existem entre a grande bacia do Amazonas, a zona do nordeste brasileiro, o planalto central, a orla da costa e o sul de nossa patria, para que, de momento, se diga das suas condições mesologicas nas relações com a localização de dado typo racial humano. Dia virá que todas essas condições serão perfeitamente conhecidas.

O meio apresenta factor da maxima importancia, elemento verdadeiramente fundamental na constituição dos diversos typos raciaes da especie humana. Não ha que negar, mas forçoso se torna confessar que o cruzamento de individuos pertencentes a typos raciaes diferentes representa tambem elemento de grande valia no que respeita á obtenção, em poucas gerações, de producto homogeneo nos seus caracteres morpho-biologicos.

Não existindo entre os japonezes preconceitos de raça e sendo os mesmos recebidos no Brasil com a hospitalidade peculiar aos nossos sentimentos elevados, numerosos serão os cruzamentos. Conhecemos e temos em observação grande numero de casaes constituídos de japonezes e brasileiras, com prole numerosa, forte, sadia e verdadeiramente interessante no que respeita aos caracteres do producto obtido pelo cruzamento, tendo, tambem, em estudos outros casaes, formados de brasileiros e japonezes, com resultados similhantes.

Ha seis annos que, pacientemente, acompanhamos, reunindo documentação, paes e filhos em pesquisas cuidadosas, sobretudo referente á evolução do producto do cruzamento, auxiliados pela Professora Noemia Salles, cuja competencia e preparo tecnico, a par de sua grande paciencia, representam contingente seguro para a colheita de elementos de valor, destinados á discussão de similhante these. Ao lado de outras observações, têm sido levantadas fichas anthropometricas do modelo adoptado no Museu Nacional de Historia Natural, documentação esta systematica, de maneira que bem se possa acompanhar, pela sua rectificação periodica, o desenvolvimento dos pequenos brasileiros, meio-sangue japonês.

Meninas e meninos, bem equilibrados, sob o aspecto morpho-biologico, deixam claro perceber a rubustez que terão quando adultos, com elegancia e agilidade accentuadas, a par de indiscutivel belleza physica.

Vendo e observando alguns productos do cruzamento, que já passaram da primeira década, estudando-os e com elles convivendo ha mais de cinco annos, do que temos assistido e inferido resta-nos a convicção de que em nada ficaram devendo aos paes relativamente á perfeição physica e aos dotes de intelligencia.

Comparando-os com crianças brasileiras, que possuem ancestraes estrangeiros já muito afastados, portanto, pertencendo a um dos typos nacionaes, soffrem sem desvantagem o paralelo.

Infelizmente, a immigração japoneza, sendo recente, ainda esse meio-sangue, já relativamente numeroso, não entrou ainda sequer no periodo da puberdade, dificultando, por emquanto, conclusões definitivas, excepto aquellas que a previsão dos naturalistas póde estabelecer.

Continuaremos nossas pesquisas e observações, afim de que, periodicamente, possamos comunicar ás sociedades sabias os nossos resultados. É de nosso conhecimento que outros cientistas brasileiros se preoccupam com o mesmo assumpto, de maneira que, tempo ao tempo, farta será a documentação e seguras as deducções.

O sangue mongolico, que incontestavelmente existe no Brasil pelos seus indios e os descendentes destes por mestiçagem, não vexa os que o possuem por herança.

João de Faria, relatando na Camara Federal um projecto sobre a immigração, teve oportunidade de expressar-se, ao referir-se aos nossos indios, que são amarellos ou mongolicos, nos seguintes termos:

«Se é certo que a passagem, muitas vezes secular, dos pretos, no Brasil, havia de deixar lembranças tristes, tambem é fóra de duvida que o nosso contacto com os selvícolas só deixou traços de justo orgulho. Do seu cruzamento com os portuguezes resultou aquella formidavel raça dos Bandeirantes, a quem o Brasil deve a vastidão do seu territorio. Os mestiços desse cruzamento nunca tiveram de apontar quaes eram os seu antecessores: o mesmo não se dava com os descendentes da raça preta. Familias das mais distintas e nobres dos nossos meios cultos conservaram do seu nome o appellido indigena, reputando isso motivo até de patriotico nacionalismo.»

NIPPAK SHIMBUN
Propriedade e direcção de:
SACK MIURA
Redactor:
Jorge T. Midorikawa
Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO - BRASIL
ASSIGNATURAS
Para o Brasil:
Por anno 30\$000
Por semestre 16\$000
Numero avulso \$500
Para o Exterior:
Por anno 60\$000
ANNUNCIOS
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926